



国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2011-2012 ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

vol. **9**
2012.3.1



長谷寺絵馬「歌舞伎図(嘉永元年)」

C O N T E N T S

- 2 ガバナーメッセージ
「識字率向上月間と世界ローターアクト週間によせて」
- 3 国際協議会に参加して
- 4 クラブ・ビルダー賞受賞
2012学年度米山記念奨学生選考会報告
- 5～7 我がクラブに この人あり
- 8 鳥取RC60周年記念式典を終えて
- 9 第10・11グループIM報告
- 10～11 地区だより(1月)
- 12 出席報告(1月)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度
国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2011-2012年度ガバナー 伊藤文利

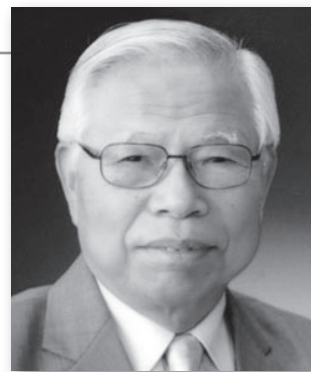


ガバナーメッセージ

識字率向上月間と 世界ローターアクト週間によせて

国際ロータリー第2690地区ガバナー

伊藤 文利



「識字率向上月間によせて」

RIは全世界のロータリアンに対し文字の読み書き出来ない人間を地球上から無くすよう積極的に手を差し伸べ、識字率向上運動を支援し、更にその問題に強い関心を抱いて欲しいとの意向からこの3月を特別に識字率向上月間と指定しました。

識字問題に関し、日本では身近に読み書きが出来ない人を見聞する機会は殆どありません。だから、我が国の社会もマスコミもこの問題について関心が低いのは事実です。しかし、多くの本邦ロータリークラブ、ロータリアンは以前から非識字率の高い国や該当地域に出掛け、様々な奉仕活動を実施し、識字率向上に取り組み、成果をあげ、感謝されている実績報告が沢山あり、誇りに思います。

識字率向上は単に読み書きが出来るようになればそれで良と言うものではありません。非識字の裏に潜む問題解決こそが何よりも大切です。それは「貧困」問題です。識字はその国の社会経済、政治状況に強く反映し、貧困や不安定政治と非識字は明白な相関関係があります。そして、非識字者の割合を国別に調べると、インドが全体の3割、中国が2割、アフリカが1.5割、残りが全世界に散在するとの報告があります。その源は厳しい格差社会や人種・宗教問題に辿りつきます。そこから発生した貧困層が非識字者を生むと言う悪循環を断ちきらねば問題解決にならないでしょう。

さて、世界の非識字者の3分の2は女性だと言われています。女性は子供と接する機会が多く、母親が非識字者であればその子も同様に非識字者に成長する可能性は大であります。例えば、子育ての段階でミルク使用法が読めないとか周囲との意思疎通が困難な場合、又、病气予防説明文が読めないでエイズ、ポリオ感染等が発生すれば、読み書きどころで無く、日常生活に支障を来します。従って、まず女性の識字率向上が何よりも不可欠だと言えます。

RIは世界で良い事をしようと言う標語の下に「未来の夢計画」を実施します。計画では「6つの重点分野」が取り上げられ、その1つが「基本的教育と識字率向上」であります。これでお分かりのように識字率向上こそが人道的奉仕活動の基本ではないかとさえ思います。

識字率向上月間に当たり、地球上から非識字者を減らす、無くす事は大変難しいでしょうが、世界平和の為にまずこの問題に関心を持ち、我々ロータリアンは何が出来るか、何をすべきか、いかにして実行に移すか等を考えてみようではありませんか。

「3月13日はローターアクトの日、世界ローターアクト週間によせて」

RIは1967年に数ある新世代奉仕の中に新たなプログラムとして18～30才迄の若者で構成される「ローターアクトクラブ(RAC)」を組み入れました。以来、今日迄全世界の国と地域200以上に、会員数約20万人、クラブ数約8500と言う大きな組織に発展しました。我が地区には色々消長はありましたが、現在、8RAC(岡山5、島根1、鳥取2)存在し、会員数は約100名を擁し、夫々立派な奉仕活動を続け、RACの光を灯し続けています。

それを支えているのは親ロータリークラブ(RACでは提唱RCと言う)の存在です。これらの提唱RCは精神的、財政的に責任RACを長年支援して頂いたお陰で今日のRACが継続しています。その意味で私は8つの提唱RCに感謝と敬意を捧げ、今後も彼らに支援の輪を広げて下さいますようお願いする次第であります。なお、公式訪問に際し嬉しかったのはRACを卒業後、ロータリアンになられた方々を多数のクラブで散見した事であります。

RIは新世代奉仕を5大奉仕部門の一つに格上げし、私は地区スローガンとして「ロータリーは人をつくる」を唱えました。我々の未来を託す宝でもある若者にもっと関心を持ち、彼らの育成に力を貸すよう地区を挙げて努力しようではありませんか。

国際協議会に参加して

ガバナー・エレクト

森田 昭一郎



2012年1月14日早朝、倉敷ロータリークラブ多数メンバーの駅頭での万歳の見送り、隣にいた中年の婦人連中の「多分あれは再婚同士よ」という横にらみを背に一路成田へ。午後5時すぎJAL便は轟音と、私の飛行機へのトラウマを乗せて一路ロサンゼルスへ。本日 天気晴朗ナレド波高シ。

翌朝バスにて上下12車線のフリーウェイを海沿いに南下、2時間後サンディエゴに入る。市内で一番の高さを誇るハイアットホテルのロビーはまるで美術館か中世の煌びやかな教会のような雰囲気、各国の人々が入り混じりながら四方に散っていく、まるで人種の交差点のよう。

入口のドアの所で、田中作治RI会長エレクト、渡辺好政パスト・ガバナー、鳥居滋パスト・ガバナー、日本から来られた研修リーダーの皆さんの出迎えを受ける。よく来たよく来たとにんまりと笑みを浮かべる皆さんを見ていると、まるで赤ずきんちゃんを迎える狼のよう。これからの一週間の研修が恐怖である。案の定翌朝8時30分より地獄の特訓が始まった。

朝食の後15分間のエアロビクス、1時間の全体会議、そして1時間半のさまざまなテーマに関するフォーラム、昼食後は7~8人に分れてのテーマ別のセッション、そして又その日のまとめの全体会議、夜は会長招待晩餐会や国際祭り、部屋へ戻れるのは9時すぎである。グループセッション以外はすべて英語で行われるのでレシーバーから流れる同時通訳のメッセージを聞かなければならず、講義の内容が頭の中にキチンと整理できない。メモを取りながら重層にかさなってゆく膨大なロータリー情報に途方にくれてしまう。パーティや食事刻の同テーブルでの異国の人達との意思疎通は極めてブロークンな英語でも半分ぐらいいは理解できるが情報伝達となると通訳ではなかなか伝わってこない。もう少し英語力があ

ればという事を痛感せざるをえなかった。

結局7日間で学んだものはなんであったのか。記憶の残っているものは、そんなになかったように思える。講演のCDがあるので帰国後ゆっくりと反芻したいと思う。ただし、グループセッションはそれぞれのガバナー・エレクトの個性がむき出しになるので、大変興味深いものがあった。ガバナー研修がなければ決して交差しなかった人達との交流は私にとっては後々の財産となろう。又、会議の形・運営のノウハウはさすがであり、大変に参考になった。帰国後は数々の会議、大会をこなしていかなければならない立場なので、ビジュアルの訓練の場としては自分の中に取り込める場面がいくつもあったように思う。長いような短いような1週間は終わり、バンコクでの再会を約してそれぞれへ散って閉会となった。

翌日は御褒美にロサンゼルス観光という事であったが私の主たる目的であった、ハリウッドのチャイニーズシアターの前にある往年のスター達が記した手形の中で、人をかき分け押しつけ見つけたのがまさにマリリン・モンローの手形・足形であった。めでたし。



国際協議会に参加して

ガバナー・エレクト
森田 昭一郎



2012年1月14日早朝、倉敷ロータリークラブ多数メンバーの駅頭での万歳の見送り、隣にいた中年の婦人連中の「多分あれは再婚同士よ」という横にらみを背に一路成田へ。午後5時すぎJAL便は轟音と、私の飛行機へのトラウマを乗せて一路ロサンゼルスへ。本日 天気晴朗ナレド波高シ。

翌朝バスにて上下12車線のフリーウェイを海沿いに南下、2時間後サンディエゴに入る。市内で一番の高さを誇るハイアットホテルのロビーはまるで美術館か中世の煌びやかな教会のような雰囲気、各国の人々が入り混じりながら四方に散っていく、まるで人種の交差点のよう。

入口のドアの所で、田中作治RI会長エレクト、渡辺好政パスト・ガバナー、鳥居滋パスト・ガバナー、日本から来られた研修リーダーの皆さんの出迎えを受ける。よく来たよく来たとにんまりと笑みを浮かべる皆さんを見ていると、まるで赤ずきんちゃんを迎える狼のよう。これからの一週間の研修が恐怖である。案の定翌朝8時30分より地獄の特訓が始まった。

朝食の後15分間のエアロビクス、1時間の全体会議、そして1時間半のさまざまなテーマに関するフォーラム、昼食後は7~8人に分れてのテーマ別のセッション、そして又その日のまとめの全体会議、夜は会長招待晩餐会や国際祭り、部屋へ戻れるのは9時すぎである。グループセッション以外はすべて英語で行われるのでレシーバーから流れる同時通訳のメッセージを聞かなければならず、講義の内容が頭の中にキチンと整理できない。メモを取りながら重層にかさなってゆく膨大なロータリー情報に途方にくれてしまう。パーティや食事刻の同テーブルでの異国の人達との意思疎通は極めてブロークンな英語でも半分ぐらいいは理解できるが情報伝達となると通訳ではなかなか伝わってこない。もう少し英語力があ

ればという事を痛感せざるをえなかった。

結局7日間で学んだものはなんであったのか。記憶の残っているものは、そんなになかったように思える。講演のCDがあるので帰国後ゆっくりと反芻したいと思う。ただし、グループセッションはそれぞれのガバナー・エレクトの個性がむき出しになるので、大変興味深いものがあった。ガバナー研修がなければ決して交差しなかった人達との交流は私にとっては後々の財産となろう。又、会議の形・運営のノウハウはさすがであり、大変に参考になった。帰国後は数々の会議、大会をこなしていかなければならない立場なので、ビジュアルの訓練の場としては自分の中に取り込める場面がいくつもあったように思う。長いような短いような1週間は終わり、バンコクでの再会を約してそれぞれへ散って閉会となった。

翌日は御褒美にロサンゼルス観光という事であったが私の主たる目的であった、ハリウッドのチャイニーズシアターの前にある往年のスター達が記した手形の中で、人をかき分け押しつけ見つけたのがまさにマリリン・モンローの手形・足形であった。めでたし。





クラブ・ビルダー賞 受賞!



松江東RC 安部 正之会員

クラブ・ビルダー賞とは...

ロータリークラブをサポートし、強化するにあたって大きな影響をもたらしたロータリアンを称えるものである。候補者は、会員歴10年以上の瑕疵なきロータリアンで、クラブ会長を務めた経験があり、推薦を受けるまでの3年間、会員数30名以上のロータリークラブの会員でなければならない。現RI役員、元RI役員、次期RI役員はこの賞の対象とならない。

- ・少なくとも5名の会員を個人的に勧誘して入会させること。また、本賞の候補者として推薦される時点において、入会させたこれらの会員すべてが正会員としてとどまっていること
- ・クラブレベルで少なくとも一つの意義ある職業奉仕プロジェクトに参加したことがあること
- ・推薦提出前3年以内に地区会議に少なくとも2回出席していること

※ ロータリークラブ強化の目標達成に示したご尽力と熱意を称え、次年度地区大会でRI会長代理より表彰されます。



2012学年度 米山記念奨学生選考会 報告

米山記念奨学会委員会 委員長
高木 新一

2012学年度米山記念奨学生の選考生が、1月9日(月・祝日)に米子ビッグシップにおいて開催されました。2012年学年度申請者の国籍は、中国が最も多く28名、次いで韓国、ベトナム各4名、モンゴル3名、バングラディシュ2名、ミャンマー、英国、スペインから各1名の計44名でした。因みに女子29名、男子15名と女子が3分の2を占めました。当日は、伊藤G、森米山記念奨学会理事、森田GE、井戸垣地区代表幹事、井上次期地区代表幹事、原次期地区米山記念奨学会委員長と学校関係者として、小林克美会員(倉吉東RC)、河崎茂先生(湯梨浜学園)の8名が選考委員として面接にあたりました。面接では、申請者の人間性・社会性やRCに関する理解度、異文化理解、日本語コミュニケーション能力などをポイントに、米山記念奨学生としてふさわしいかどうかを審査いたしました。

面接に引き続き行なわれた選考会議では、申請者の国籍や大学の県別バランス、継続奨学生の地域等を考慮しながら、22名の優秀な学生を選考いたしました。特に今回は、当地区では初めての「地区奨励奨学生(2名で1名のカウント)」を採用しました。

この結果、2012学年度の奨学生は、新規22名と小林G年度からの継続者4名を含めた26名となります。新規奨学生として選ばれた学生は、4月29日(日)に倉吉で開かれる「新規米山記

念奨学生オリエンテーション」に参加し、世話クラブ・カウンセラー制度のもと、価値ある奨学生生活を送っていただくよう期待しております。

最後に、選考委員の皆様には、事前に44名にも及ぶ膨大な量の小論文や研究・計画書を採点いただき、当日は、ご遠方のところ朝早くから丸一日かけて、奨学生の選考にご尽力いただきました。心から御礼申し上げます。

ありがとうございました。



我がクラブに この **人** あり



岡山南RC

パスト・ガバナー
中島 保

岡山南RCのチャーターメンバーであるパスト・ガバナー（1986-87年度ガバナー）で拡大の鬼といわれた、中島 保氏をご紹介します。

1989-90年にRI拡大委員として日本のロータリークラブの拡大とその推進の役目を担われました。日本地図と首っ引きでめばしい都市に足を運び、また電話や手紙でお願いをかさね1年間で67クラブの拡大に成功されました。この記録は破られることのない、日本のロータリーにおける金字塔であります。中島PGのエピソードはたくさんありますが、その一例をあげます。岡山が誇る偉大なる財界人である土光敏夫大先輩にロータリーのメイクアップの説明役をされました。そしてRI第2690地区のPGとしてRI会長代理という名誉ある大役を務められた方は中島PGをもって嚆矢とします。念のため、私は中島 保の息子であります。

岡山南RC 会長 中島 康博



岡山城RC

奥野三四志

ば、ということで単身同華岡RC訪問を実行されたのでした。

実はこの原稿を書いております私は、奥野会員が会長時の幹事でした。例会時私が骨子だけの簡単なメモを作り、奥野会員に渡すのが常でしたが、奥野会員はそれに適切に肉付けをして下さり、うまく例会を進行させていただいたのをよく記憶しております。

最後に奥野会員、今後もお元気で当クラブのご意見番としてクラブ会員に喝を入れてやっていただくようお願いいたします。

2010-2011年度 第11グループガバナー補佐
佐々木浩史

当クラブの「この人あり」といえば、奥野三四志会員でしょう。当クラブのチャーターメンバーであり、第4代目会長、さらには（他にはあまり例がないと思われませんが）ガバナー補佐を二度務められています。

そのような肩書き等以外に奥野会員の人となりを知るエピソードをいくつか紹介させていただきます。

奥野会員は岡山市議会の議員を2期務められました。3期目も、が衆目の一致したところでしたが、2期で引退されました（誰かのように世襲などなしで）。眼が悪くなって十分なことができなくなったと自分で判断されたからとのこと……潔し。

当クラブは台湾の台北市華岡RCと姉妹クラブの協約を締結しております。SARS（サーズ）が流行したため、当クラブから同華岡RCへの毎年恒例化している訪問も中止することになりました。しかし、奥野会員は姉妹クラブとしての友情を考えれ



我がクラブに この人あり



岡山岡南RC

惣市 卓久

我がクラブには、「支援・奉仕」という言葉ですら一般的でなかった時代、すでに「ボランティア」活動を始めていた、「Mr. ボランティア」こと惣市卓久会員がいます。

惣市会員が、地元の仲間たちとバザーの売上金を寄付してから35年、現在では、①産廃問題を研究し、子供達にエコロジー学習を行う「岡山市エコ技術研究会」②障がい者介護のお手伝いをする「奉仕団体 どんぐり」③地域イベントでの救護班や、災害現場で救護活動を行う「岡山県赤十字救護奉仕団」④職業奉仕活動を行う「ロータリークラブ」の4つの団体で「奉仕・支援・ボランティア」活動をするに至っています。

仲の良い友達のお手伝いをしているという気持ちで、お手伝いをしている時に体験した、障がい者の方々への「ピュアで豊

かな感性」と阪神・淡路大震災の救護活動の時に体験した、「お互いを思いやる心」が、惣市会員の「ボランティア」への思いをさらに強くして、日々の活動につながっているそうです。

まさに、「ボランティア」活動が、生活の一部となっている惣市会員。我々、岡山岡南RC会員も惣市会員に習い、これからも、充実した奉仕活動に取り組んで行きたいと思います。

岡山岡南RC 広報・会報・歴史編纂委員会
副委員長 浜田 誠二



岡山西南RC

安達 學



「和すれば栄え、争えば滅ぶ」という言葉を座右の銘にしなが、90歳の今も第一線で活躍されている我がクラブの安達 學会員をご紹介します。先の例会では、豊かな経験に裏打ちされたスピーチをされ、フレッシュ会員達にも大きな感動を与えられました。

安達会員は、社会福祉法人みどり会の理事長として、「みどり町保育園園長」と、特別養護老人ホーム「鹿田の庄(かたのしょう)」「天赦の里(てんしゃのさと)」の経営に当たっておられます。このほかにも4つの会社の代表取締役です。

240人もの園児が通ってくる「みどり町保育園」の玄関では、ご本人の実物大の胸像が、大きなメガネを掛けて迎えて下さいます。

副園長は、「この胸像に向かって朝夕のあいさつをする園児がいます。」と話され、それは園長のお人柄ゆえと思いました。

最高齢ながら、体格も大変立派な安達会員の自慢は、なんと言っても、ご父君の指導で腕を磨かれた「剣道」であります。平成16年には10段の段位を頂かれ、これは親子二代に亘る業績で、現在日本では唯お一人です。今後もお元気で活躍されることを祈念しております。

岡山西南RC 会長 廣田康孝

我がクラブに この人 あり



赤磐RC

菅形 基道

当クラブの菅形基道会員(備前焼作家)には、その作品と人柄に魅かれ著名人のファンも多いが、彼は創作の傍ら20年以上の長きに亘り、無償で小中高生や海外からの留学生等に陶芸体験指導を実施、近年は障がい者授産施設や視覚障がい者の為の陶芸体験指導も行なっており、その数は数千人にも上る。また、2008年には東京で多くの人が杉花粉に困っていると聞き、誰も挑戦したことのない「杉の木だけによる焼成」に挑戦し成功!その作品のチャリティー展を東京日本橋RCで開催し完売、その売上金全額を東京都の「花粉の少ない森づくり運動」に寄付、2011年春には「あしなが育英会並びに東日本大震災遺

児育英の為のチャリティー陶芸展」に多数の作品を寄贈。菅形会員は備前焼作家(伝統工芸士)としてはもちろん、ロータリアンとして備前焼を通して青少年奉仕・社会奉仕・国際奉仕を実践し続ける、まさに「我がクラブにこの人あり」と当クラブが誇れるメンバーである。

赤磐RC 会長 幡山寛念



岡山RC

滝澤 輝治

滝澤輝治君が2012～13年度2690地区第9グループのガバナー補佐に選出されました。我がクラブにとって大変名誉なことであり、会員全員で協力したいと考えています。

滝澤輝治君は1985年岡山ロータリークラブ入会、2005～06年度幹事、2008～09年度会長を務められた経験豊かなロータリアンです。彼は入会后、各委員会の委員長や理事、地区大会や周年行事での役を務めるなど、RCの活動に多くの研鑽を積み、奉仕活動に積極的に参加されています。今回のガバナー補佐の選出に際しても協力的でした。

慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了後、(株)滝澤鉄工所入社。代表取締役や国内外の関係会社社長・役員等を務めるかたわら、青年会議所理事長や業界団体理事

など各種の団体理事など各種の団体役員など歴任。社業の第一線を退いた後も、(財)岡山県国際交流会やNPO法人など各種の団体役員を務め、社業で身につけた国際感覚を活かした活動を地域で実践されています。今後、ロータリーの世界で大いに活躍が期待される一人です。

岡山RC 会長 岡崎 邦泰





鳥取RC60周年記念式典を終えて

鳥取ロータリークラブ 創立60周年記念史編集委員長
星見 清晴



式典挨拶の甲斐英則会長



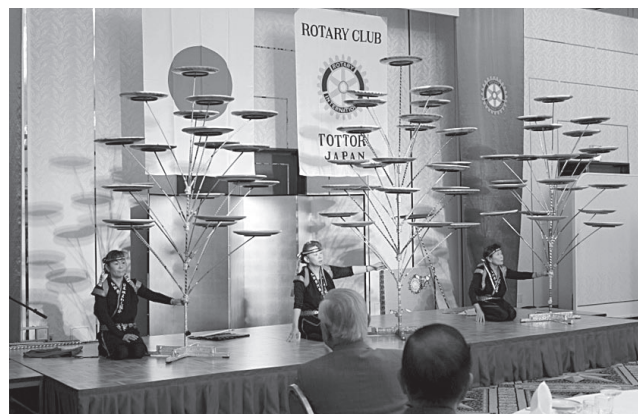
祝辞を述べられる伊藤文利ガバナー

鳥取ロータリークラブは1952(昭和27)年1月19日に創設されて今年でちょうど60周年を迎え、去る1月21日(土)に「創立60周年記念式典」を実施いたしました。式典には国際ロータリー第2690地区ガバナー 伊藤文利氏をお迎えし、平井鳥取県知事、竹内鳥取市長他多数の来賓の出席を得、約100名の参加のもとで盛大に挙行することができました。

式典は、甲斐英則 鳥取ロータリークラブ会長の「鳥取ロータリークラブは、1952年1月19日に、神戸、姫路両ロータリークラブのお力添えをいただき、中国地方で5番目、山陰地区では初めてのクラブとして設立されました。ここに60周年の記念式典を迎えることができましたのは、皆様方の温かいご支援のおかげです。」との挨拶に始まりました。続いて、伊藤文利 ガバナーより、(1)米原章三初代会長はじめ28名の会員で、わが国では72番目のクラブとして発足した。(2)この60年間に、米原 穰 氏(1960~'61年度)、村江正名 氏(1988~'89年度)、米原正博 氏(2001~'02年度)の3名の地区ガバナーを擁立された。(3)地域社会奉仕活動として、「鳥取ロータリークラブ米原賞」の設置、「鳥取敬愛高校インターアクト・クラブ」の育成。(4)国際奉仕活動として「米山奨学生の受け入れ」、「スリランカ・コロンボ国立病院への10次にわたる医療機器贈呈事業」などを実施された。(5)こうした鳥取ロータリークラブの活動は、地区内外のロータリアンに大きな刺激になっており、会員諸子の熱いロータリー精神の表れと深く敬意を表したい、との祝辞をいただきました。その後、小谷文夫事業委員会委員長より記念事業の報告があり、鳥取県障がい者スポーツ協会 福留史朗会長へ競技用車椅子3台(レース用、テ

ニス用、バスケットボール用各1台)が甲斐会長より贈呈されました。更に、スポンサー・クラブ、特別功労者、歴代会長・幹事、前事務局職員、インターアクト・クラブ顧問教師への感謝状と記念品の贈呈が行われ、最後に長石 肇 実行委員長の閉会のことばで式典を無事終了いたしました。

式典終了後、にぎやかに祝賀会が開かれました。「散岐皿回し健康づくり同好会」によって、見事な皿回しに加え、こたつ、たたみ等なんでも回す妙技が披露された後、第1グループ・ガバナー補佐 谷口讓二 氏による乾杯の音頭で祝宴に入りました。祝宴では、創立60周年の歴史を振り返るとともに今後の活動について会員の思いを語り合い、また、来賓の方々との懇親を深め合いました。懇談は尽きませんでしたが、油野利博 幹事の閉宴のことばの後、「手に手つないで」を大合唱して、鳥取ロータリークラブの更なる発展を誓いつつ創立60周年の祝賀会を閉じ、当日の記念行事をすべて終了いたしました。



妙技を披露する散岐皿回し健康づくり同好会の皆さん

第10・第11グループIM報告

RI第2690地区 第10・11グループ
「2011～2012年度IM」が開催されました。

第10・第11グループ IM実行委員会



1月29日(日)、近隣のロータリアンが一堂に会し、ロータリー情報を学ぶと共に親睦を図ることを目的とした、RI第2690地区 第10・11グループの「2011～2012年度IM」が、300人を超える多くの会員の方々のご参加により、ホテルグランヴィア岡山にて開催されました。

バブル崩壊後、安定を求めるあまりリスクを恐れ、停滞を続けるわが国の政治や経済事情に加え、昨年の3月11日に発生した東日本大震災により、今なお多くの方々が深い悲しみと苦勞を強いられている今だからこそ、企業も、団体も、大きな体質改善を図り、活力ある経済活動を目指していかなくてはならないという考えから導き出されたIMのテーマは、「今こそ必要なのは、四つのテスト」。

まず、このテーマに合わせて行われたメインプログラムの特別講演では、RI第2800地区 パスト・ガバナー 藤川亨胤氏(鶴岡RC)をお招きして、現在の世情から、人間の隠された才能や忍耐力ある人間を育てることの必要性、健全な家庭の在り方やそのための子供の叱り方、さらに、子供化した大人と大人化した子供の問題点等について、ロータリアンであり住職という立場から、様々な教育の現場にも携わって来られた、「職業奉仕」についての貴重な講演をいただきました。

つぎに、メインプログラムのパネルディスカッションでは、岡山RC 飛田晴康 会員、岡山中央RC 山下龍子 会員、

岡山南RC 西川智晴 会員、岡山西RC 文野平 会員、岡山西南RC 三村元博 会員をパネラーとしてお招きして、それぞれの立場で「四つのテスト」をどう捉えてどう実践しているかについて、具体的な説明をいただくと共に、参加会員からの質問にも応答していただき、参加会員が実践して行く「職業奉仕」の大きな参考になりました。

どちらのプログラムも、今、私たちロータリアンが取り組むべき職業倫理の追求と、自らの行動をいかに地域や職場で模範として活動して行くかについて、問題定義や目標設定を示した、IMらしいタイムリーな企画で、参加した会員の方々それぞれに有意義な学習会とすることができました。

また、閉会後に行われた懇親会では、第10・11グループの新年のお祝いを全員で行うと共に、各テーブルでは、クラブ間の枠を越えて、「四つのテスト」に対する意見や「職業奉仕」の夢を語る姿も見られ、さらに、ロータリアンとしての友情と信頼の絆を深める1日となりました。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

【 地区だより (2012年 1月) 】

(敬称略)

新会員ご紹介



藤田泰央
鳥取中央RC

田中和志
鳥取北RC

瀧本浩志
鳥取西RC

笠岡範之
米子RC

角川宣行
新見RC

阪本司郎
新見RC

福谷信行
総社吉備路RC

源佑一郎
総社吉備路RC

藤井昭佐
児島RC

柳楽克人
倉敷南RC

末吉賢多
岡山北西RC

岡本宮松
岡山後楽園RC

馬場幸三
岡山北RC

和氣 泉
岡山北RC

谷 俊彦
玉野RC

武下忠人
玉野RC

桑田裕行
岡山備南RC

三宅恒弘
岡山丸の内RC

佐藤研治
岡山丸の内RC

八木通文
岡山丸の内RC

ロータリー財団への寄付

大口寄付者 (レベル2)



星島和一郎
倉敷RC



小林完治
岡山西南RC

大口寄付者



井村 誠
岡山西南RC



角南義文
岡山西南RC

ベネファクター



山口孝之
出雲中央RC



福岡睦子
岡山南RC

メモリアル・コントリビューションへの寄付



中津尾健
米子RC

ポール・ハリス・フェロー



伊藤文利
倉吉RC



河崎一寿
倉吉東RC



堀田 收
境港RC



中津尾健
米子RC



伊藤寛史
出雲中央RC



金津初男
出雲中央RC



北脇樹二
出雲中央RC



宮本 博
出雲中央RC



森山 勝
出雲中央RC



中村裕一
出雲中央RC



岡 英司
出雲中央RC



高橋正三郎
出雲中央RC



松永好民
津山西RC



浅野敏美
岡山西南RC



廣田康孝
岡山西南RC

米山記念奨学会への寄付

米山功労者メジャードナー



伊藤文利
倉吉RC



野間田節雄
倉吉東RC



森本信一
津山RC

米山功労者

訃報

謹んで哀悼の意を表し ご冥福をお祈りします



永岡幸雄 会員 (総社吉備路RC)
2012年1月26日ご逝去 (享年66歳)

2002年7月2日入会
(株)カインド 代表取締役 情報処理
第24代会長、ポール・ハリス・フェロー (2回)、
米山功労者 (1回)、
2010年度米山奨学生カウンセラー



宇垣公晟 会員 (岡山西RC)
2012年1月20日ご逝去 (享年84歳)

1984年12月3日入会
老人保健施設サンライフ倉敷 理事長 内科医
各種理事・委員長歴任
米山功労者

【 地区だより(2012年1月) 】

(敬称略)

ロータリー財団への寄付

メモリアル・コントリビューションへの寄付

米子RC…………… 中津尾健が、故父 中津尾祥次のために
 米子南RC…………… 多羅尾整治が、故母 多羅尾信子のために

ロータリー東日本震災復興基金への寄付

倉敷南RC…………… 208.33ドル

クラブ特別寄付(年次寄付)

鳥取RC……………	594.87ドル (ミリオンダラーミール)	新見RC……………	370.00ドル
境港RC……………	2,820.51ドル (ミリオンダラーミール、その他)	玉島RC……………	720.00ドル
出雲中央RC……………	507.69ドル (ミリオンダラーミール)	倉敷RC……………	4,307.69ドル
	11.00ドル (新入会員寄付)	倉敷南RC……………	65.00ドル (2ドル寄付 後期分)
江津RC……………	100.00ドル		756.00ドル (ロータリー誌寄付 後期分)

年次寄付にご寄付いただいた方々

境港RC…………… 福嶋法爾、北國恵久、細田淑人、市場和志、門永武志、柏木晴夫、川田一郎、小林 哲、黒田 耕、増谷立夫、松井尚成、松本 正、松本雄次、森脇尊昭、中田耕治、岡空晴夫、酒井 英、庄司尚史、田中幸雄、内田幸二、渡辺将利、渡辺俊裕、山崎康史

米子南RC…………… 見尾保幸

松江南RC…………… 梶谷健一

出雲中央RC…………… 阿川嘉明、荒木光治、浅津博行、朝山 裕、朝山一玄、福田健吉、布野規子、古瀬俱之、平田誠二、廣原俊平、堀江卓史、池淵俊雄、今岡余一良、石橋尚子、伊藤直子、金山 均、岸 篤彦、小林和夫、小林敏行、児玉 治、宮本 享、永田 泊、内藤房夫、中筋雄三、鬼塚史彦、塩野和正、高橋 章、高橋英一、瀧川 修、多久和康司、鳥屋尾征幹、内田政智、牛尾尚正、山口孝之、山本和正、山根一生、山代裕始、矢田信一、米山二郎、吉田禅教、吉川榮一

倉敷瀬戸内RC…………… 荒木忠興、芦原 勉、江口健一、原 弘道、原田一郎、長谷川寛、池上仁海、石原曠二、香川俊一、貝原伸司、河村一浩、蔵原 孝、日下昌平、桑折祐子、丸尾重仁、丸山昌己、三宅英和、森岡雅彦、永原貴雄、中桐真彦、中野有一、中山永浩、西 庸介、西岡喜良、大熊清文、奥蘭 悟、小野寛治、小野 保、大島康雄、斎藤俊昭、佐々木伸介、下原福子、高島賢二、塚村治道、和田晃佳、山田 斉、吉田衛生

津山西RC…………… 廣野勝彦、川端誠一郎、中村早百合、下迫博幸、畝岡潤治、野口泰俊、廣澤大祐、北村三郎、森定慈誠、小椋 懋、下山武紀、井上昭雄、横道宣弘

岡山南RC…………… 中山雅弘

岡山西南RC…………… 安達 學、秋山裕一、藤原真人、福島孝彦、伏見 正、蜂谷俊夫、春田明俊、本徳智英、堀登詩貴、堀 敬夫、井上 勲、勝目秀幸、河合智哉、河合 進、桔梗博充、小橋祐治、小林和義、小林孝一郎、古南倫子、近藤和二、小山敏章、黒岩晃一、楠本俊恵、桑原 洋、松下典裕、三村元博、本山康代、森 英文、村上伯夫、仲村 巧、岡本匡史、岡永 正、小野 稔、大西哲夫、太田英利、大内皓雄、尾坂 功、坂本久男、坂本裕平、佐藤弘一、佐藤能之、椎原裕二、末吉周平、田口一子、竹下俊彦、田中英樹、内山一三、上田泰輔、和田治郎、安永幸賢、油谷直幸

米山記念奨学会への寄付

クラブ特別寄付

笠岡東RC…………… 21,000円(米山ランチ)

クラブ普通寄付

智頭RC……………	28,000円	出雲RC……………	130,000円	倉敷RC……………	210,000円	岡山北RC……………	105,000円
鳥取RC……………	174,000円	出雲中央RC……………	122,500円	倉敷中央RC……………	45,000円	岡山南RC……………	474,000円
鳥取中央RC……………	82,000円	江津RC……………	65,000円	倉敷南RC……………	260,000円	玉野RC……………	80,000円
鳥取北RC……………	162,000円	浜田RC……………	157,500円	倉敷水島RC……………	93,000円	牛窓RC……………	21,000円
鳥取西RC……………	140,000円	井原RC……………	90,000円	倉敷瀬戸内RC……………	92,500円	岡山備南RC……………	87,500円
境港RC……………	90,000円	笠岡RC……………	153,000円	美作RC……………	70,000円	岡山岡南RC……………	75,000円
米子RC……………	160,000円	笠岡東RC……………	126,000円	津山西RC……………	85,000円	岡山丸の内RC……………	58,000円
松江RC……………	175,000円	新見RC……………	32,000円	岡山RC……………	285,000円	岡山西南RC……………	140,000円
松江東RC……………	142,500円	総社RC……………	97,500円	岡山東RC……………	258,000円		
松江南RC……………	170,000円	玉島RC……………	75,000円	岡山北西RC……………	102,000円		
松江しんじ湖RC……………	165,000円	児島東RC……………	57,500円	岡山後樂園RC……………	127,500円		

特別寄付をいただいた方々

松江しんじ湖RC…………… 丸本良之
 玉島RC…………… 岡田宣二
 岡山西南RC…………… 蜂谷俊夫、椎原裕二

特別寄付をいただいた法人

玉野RC…………… 日本特殊炉材(株) 100,000円

表紙・長谷寺絵馬 歌舞伎図 嘉永元(1848)年 縦159.0cm×横189.0cm

歌舞伎の画題は不明ながら、4人の役者のそれぞれが見得を切ったような極めのポーズをとっています。衣裳の柄も細やかに、配色鮮やかな人物画です。

画工の岡本屋勝三郎稲柴は、横町(現堺町)に住む町絵師で、長谷寺に絵馬3枚が現存します。

奉納は、天保7(1836)年の飢饉、「申年がしん」から丁度12年後にあたり、翌年の嘉永2年8月には13回忌の大供養が行われました。

願主は松本伊兵衛内、丑とし男、とありますが、松本伊兵衛は、飢饉救済にあたった七人衆の一人として名を残しています。

出席報告 (2012年1月)

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数				クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数					
				7月1日	1月末	内女性 会 員	増減					7月1日	1月末	内女性 会 員	増減		
第1グループ	智 頭	80.95	76.19	3	11	14	1	3	児 島	79.49	58.12	4	28	30	0	2	
	倉 吉	92.67	78.45	4	55	58	3	3	児 島 東	95.65	84.06	3	23	23	0	0	
	倉吉中央	81.16	68.12	3	23	23	2	0	倉 敷	98.74	83.91	4	77	84	0	7	
	倉吉東	86.05	66.86	4	44	43	2	-1	倉敷中央	77.78	77.78	3	18	18	3	0	
	鳥 取	100.00	85.63	3	53	58	3	5	倉敷東	94.57	86.05	3	40	43	4	3	
	鳥取中央	80.95	80.95	3	41	42	0	1	倉敷南	91.79	66.30	3	66	65	5	-1	
	鳥取北	81.16	78.74	4	54	55	6	1	倉敷水島	77.78	64.20	3	31	31	0	0	
	鳥取西	88.16	80.26	4	53	57	0	4	倉敷瀬戸内	90.54	71.64	4	37	37	2	0	
	計(8)	86.39	76.90		334	350	17	16	計(8)	88.29	74.01		320	331	14	11	
第2グループ	境 港	80.00	61.67	4	42	45	0	3	第8グループ	真 庭	92.31	82.31	4	34	33	0	-1
	米 子	84.90	58.78	4	62	65	2	3		美 作	88.37	88.37	4	35	35	1	0
	米子中央	87.88	80.81	3	33	33	1	0		津 山	73.93	69.05	4	88	89	3	1
	米子東	81.20	67.81	3	77	78	5	1		津山中央	84.29	84.29	3	26	25	2	-1
	米子南	94.33	75.18	3	46	49	1	3		津山西	89.90	86.73	3	34	34	4	0
	計(5)	85.66	68.85		260	270	9	10		計(5)	85.76	82.15		217	216	10	-1
第3グループ	松 江	89.96	70.26	4	68	70	0	2	第9グループ	赤 磐	90.28	78.87	4	20	21	0	1
	松江東	88.76	83.33	3	57	57	0	0		備 前	77.08	68.78	4	43	60	6	17
	松江南	92.27	82.99	3	68	67	4	-1		岡 山	91.86	71.66	3	105	114	0	9
	松江しんじ湖	91.29	71.86	4	63	66	9	3		岡山東	93.56	81.68	4	85	86	0	1
	隠岐西郷	80.20	64.36	4	26	27	0	1		岡山北西	95.97	81.51	3	49	52	4	3
	計(5)	88.50	74.56		282	287	13	5		岡山後楽園	87.82	76.28	3	51	52	0	1
第4グループ	平 田	90.10	85.15	3	38	37	1	-1	第10グループ	計(6)	89.43	76.46		353	385	10	32
	出 雲	80.29	67.79	4	48	52	1	4		岡山旭川	92.31	74.36	3	25	26	1	1
	出雲中央	82.99	75.51	3	50	49	3	-1		岡山中央	91.87	79.65	3	45	45	5	1
	出雲南	95.34	86.02	4	59	59	6	0		岡山北	85.63	66.09	4	45	44	0	-1
	大 社	78.30	69.81	3	42	43	1	1		岡山南	87.97	73.01	4	151	158	13	7
	計(5)	85.40	76.86		237	240	12	3		玉 野	87.50	72.79	4	32	34	0	2
第5グループ	江 津	73.08	70.51	3	26	26	0	0	第11グループ	牛 窓	100.00	100.00	3	7	7	0	0
	浜 田	88.55	80.12	3	52	57	1	5		計(6)	90.88	77.65		305	314	19	10
	益 田	93.48	87.91	4	24	23	2	-1		岡山備南	91.26	82.83	3	35	36	4	1
	益田西	92.47	71.43	3	30	31	1	1		岡 山 城	93.52	85.19	4	27	27	4	0
	大 田	95.83	86.96	3	26	25	3	-1		岡山岡南	94.17	78.99	4	30	30	3	0
第6グループ	計(5)	88.68	79.39		158	162	7	4	岡山丸の内	91.49	74.47	3	32	32	2	0	
	井 原	73.60	64.80	3	46	45	2	-1	岡山西	92.71	75.89	4	73	74	6	1	
	笠 岡	91.57	89.33	4	50	51	0	1	岡山西南	91.62	75.76	3	64	56	3	-8	
	笠岡東	85.12	81.55	4	42	42	1	0	計(6)	92.46	78.86		261	255	22	-6	
	新 見	83.33	77.78	4	16	23	1	7	地区 クラブ 内の 状況	クラブ数				67RC			
	総 社	84.11	71.43	3	37	39	7	2		7月1日現在会員数				3,027名			
	総社吉備路	84.40	83.57	4	35	36	3	1		1月末日会員数				3,120名			
	高 梁	90.00	77.34	3	44	44	3	0		内 女性会員数				151名			
玉 島	86.32	82.05	4	30	30	1	0	純増				94名					
計(8)	84.81	78.48		300	310	18	10	1月出席率	Make-up後				87.80%				
									ホームクラブ				76.75%				

国際ロータリー第2690地区
2011-2012年度
地区スローガン



国際ロータリー第2690地区 2011-2012年度 ガバナー
伊藤 文利

〒682-0887 鳥取県倉吉市明治町 1037-11 倉吉商工会議所 3 階
TEL 0858-24-2690 FAX 0858-24-2691
E-mail : ito2690@shirt.ocn.ne.jp